

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	2	学校名	ろう学校
----	---	-----	------

1. 取組名 筒井順慶まつりへの参加

2. 活動内容

昨年度に引き続き、筒井順慶まつりに高等部生徒12名が会場案内係や、武者行列、模擬店「わたがし」の出店に参加した。生徒たちは、地域の方に着付けをしていただいて暑い中武者行列に参加したり、模擬店の「わたがし」販売では積極的に接客を体験したりした。筒井駅前では手作りの案内地図を配布して会場まで案内したりした。活動を通して地域とつながる楽しさを体感した。

3. 成果と課題

ろう学校の参加は、今年度で3回目となり、筒井順慶顕彰会会長及び老人会の方々と連携を密にしながら地域参加ができた。筒井順慶顕彰会の会長が何度も学校に来校され、回を重ねるごとに教員の意識が高まり、参加した生徒たちは、地域とつながるコミュニケーションの大切さを実感した。参加した生徒のほとんどが、事後アンケートで「楽しかった」「社会参加の意識が高まった」「地域の方とコミュニケーションできた」と答えていた。「他の店のおじいちゃんたちが、『頑張っ』って声をかけてくれたり、差し入れしてくれたり、優しい方ばかりで楽しかったです。小さい子から大人の方まで楽しむことができ、良い経験になりました。」「祭りでいろんな人に出会えた事に感謝し、世界が少しだけ広がった気がします。」など、生徒たちの感想から伺えるように地域の行事への参加活動を通じて、地域と学校とのつながりを体感し、ろう学校の啓発につながった。またこの祭の参加がきっかけとなり、今年度実施した「奈良ろう中高祭」では、筒井順慶顕彰会会長を講師に招き、筒井順慶まつりのミニ講話と鎧体験を実施することができた。

来年度も地域と連携しながら生徒会活動、社会貢献活動として前向きに検討したい。今後、地域との協働活動を積極的に進めていくために、校内での体制づくりの検討が必要である。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

今年度も地域の方々とのつながりが深まり、教員の積極的な姿勢や生徒の意識の高まりを感じた。来年度開催予定の「ひびき祭（文化祭）」や生徒会主体のボランティア活動を積極的に企画し、これまでの実践を活かす方向で地域とつながる取組を検討し、生徒の規範意識の向上を図りたい。

